

課題名	41 高品質小麦の省力安定栽培技術 小麦めん適性の品種・系統間及び栽培法による差	分類	②
試験研究年次	63～2年(完了)		
<b>I 目的</b> 小麦の品種・系統や栽培法がめん適性、特にゆでめんの官能評価に及ぼす影響を明らかにし、高品質小麦生産のための参考資料とする。			
<b>II 試験方法</b> <b>【試験Ⅰ】 品種・系統間差</b> 1 供試材料産地：農総試農産研究所第3水田 2 供試品種・系統：農林61号、ニシカゼコムギ、シロガネコムギ、西海168号 3 施肥法：品種、試験場所や前作の種類等より異なり、それぞれの標準的な施肥法とした。 4 品質調査法：検査等級は農林水産省福岡食糧事務所に、また製粉性やゆでめん官能評価は九州製粉懇話会に依頼した。  <b>【試験Ⅱ】 栽培条件</b> 1 供試品種：農林61号、西海168号 2 産地：農産研究所(一般田15-①、作土深が深い水田15-②、大豆跡16-①) 吉井町現地、豊前分場(1年のみ) 3 前作：水稻、大豆 4 施肥法：品種、試験場所及び前作等によって2水準を設定。 5 品質調査法：【試験Ⅰ】と同じ			
<b>III 主要成果の概要</b> 小麦の品種・系統や栽培法が小麦のめん適性、特にゆでめんの官能評価に及ぼす影響を明らかにした。  <b>1 品種・系統間</b> (1)「西海168号」は、供試した品種・系統の中では最もゆでめん官能評価が高い。特に、なめらかさや粘弾性が優れる。農林61号、ニシカゼコムギ及びシロガネコムギのゆでめん官能評価は、年次間に変動がみられる。 (2)「西海168号」は、品種特性として枯熟れが発生しやすく、また、硬質未熟粒が生じやすい。このため、実用上問題があるが、今後、高品質小麦を選抜する上で、基準系統として参考になる。  <b>2 栽培法</b> 産地、前作、施肥法等でもゆでめんの官能評価は異なり、粒の充実(千粒重が重い)が良く、外観品質(検査等級)の良いものが、ゆでめんの官能評価も優れる傾向がみられる。			

IV 主要成果の具体的データ

第1表 外観品質、製粉性及びゆでめんの官能評価の品種間差（農産研究所）

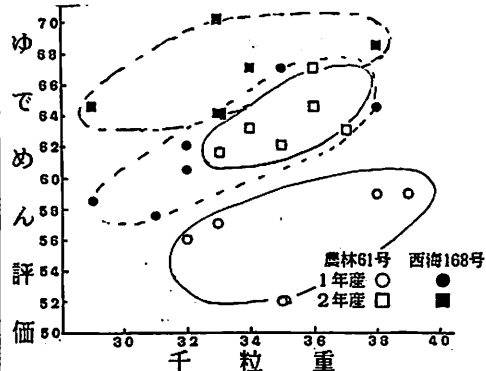
項目	検査等級		製粉歩留		60%粉				ゆでめん官能評価			
	1年産	2年	1年	2年	粗蛋白(%)		灰分(%)		粘弾性		総合評点	
					1年	2年	1年	2年	1年	2年	1年	2年
農林61号	2下	2中	70.7	65.7	8.5	7.9	0.43	0.38	15.0	15.0	62.0	66.5
ニシカ104号	1下	1中	69.9	70.3	7.2	7.9	0.43	0.39	15.0	14.5	64.5	62.0
シカ104号	2下	2上	67.4	70.5	7.6	8.1	0.36	0.41	13.5	14.5	61.0	63.0
西海168号	規外	規外	71.2	68.7	8.2	8.5	0.37	0.39	17.5	16.5	67.0	67.0

注) 西海168号の子実形質は、長粒で硬質になりやすい特性がある。

第2表 品種、栽培法とゆでめん官能評価（総合評点）  
（1年産） （2年産）

（1年産）						（2年産）					
No	品種	産地	前作	施肥法	千粒重 評点	No	品種	産地	前作	施肥法	等級 評点
1	農	場内	水稻	7-3-2	38g 62.0	1	農	場内	水稻	7-3-2	2下 61.5
2	林	〃	大豆	3-4-2	38 59.0	2	林	〃	〃	〃	2中 67.0
3	61	吉井	水稻	6-3-2	32 56.0	3	61	吉井	〃	6-5-0	2下 63.0
4	号	〃	大豆	3-3-0	35 52.0	4	号	豊前	〃	5-4-3	1中 64.5
5	西	場内	水稻	5-4-3	38 64.5	5	西	場内	水稻	7-3-2	規外 64.0
6	海	〃	〃	7-3-2	35 67.0	6	海	〃	〃	7-3-2	〃 67.0
7	168	吉井	水稻	6-3-2	32 60.5	7	168	吉井	〃	6-5-0	2下 63.0
8	号	〃	大豆	3-3-0	32 62.0	8	号	豊前	〃	5-4-3	1中 68.5

注) 評点：ゆでめん官能評価の合計値



第1図 小麦の千粒重とゆでめん評価（総合評点）との関係（精麦重は2.0mm以上）

※ 作土深が深い水田（15～16cm）  
（3年産）

No	圃場	品種	倒伏	品質	等級	評点
1	標準	農林61号	0	5	2下	65
2		〃	1.5	7	規外A	63
3		〃	3.5	8	〃	61.5
4		西海171	0	5	2下	66.5
5		西海168	0	6	規外A	68.5
6	深耕	農林61	0	6	規外A	63
7		〃	1.0	5	2下	64
8	深耕	農林61	0.5	5	2下	63
9	堆肥	〃	2.5	6.5	規外A	62.5
10		〃	3.5	7	〃	60.5

注) 標準（作土深10～12cm）、深耕（15～16）

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 福岡県高品質小麦生産「いい麦、いきい麦作り運動」を推進する上での参考資料となる。
- 2 「西海168号」については、高品質小麦の新系統を選抜する場合のゆでめん官能評価の基準系統として利用できる。

VI 今後の研究上の問題点

西海168号並～以上のめん適性をもつ系統の選抜とその安定栽培法確立

VII 資料

日本作物学会九州支部会報57号